

2015 元旦マラソン大会を開催しました!!

■小学生男子の部

順位	選手氏名	タイム
1位	安田流星	16分26秒
2位	白井風我	16分27秒
3位	花田昂己	17分11秒

■小学生女子の部

順位	選手氏名	タイム
1位	九鬼ゆら	20分04秒
2位	平林愛華	21分00秒
3位	堀内結衣	21分10秒

■中学生男子の部

順位	選手氏名	タイム
1位	望月悠斗	12分57秒
2位	高野恵輔	14分55秒
3位	杉田俊介	14分56秒

■中学生女子の部

順位	選手氏名	タイム
1位	佐藤綺華	18分14秒
2位	橋本卯月	19分41秒
3位	相川綾美	19分48秒

■高校生・一般男子の部

順位	選手氏名	タイム
1位	中野 薫	13分26秒
2位	雨宮俊祐	13分49秒
3位	郷田夢翔	13分54秒

■高校生・一般女子の部

順位	選手氏名	タイム
1位	遠藤法子	21分03秒
2位	小川 綾	21分59秒
3位	鈴木晶子	22分06秒

■シルバー男子の部

順位	選手氏名	タイム
1位	佐野賢太郎	17分19秒
2位	小林保雄	19分21秒
3位	鶴田 武	22分04秒

■シルバー女子の部

順位	選手氏名	タイム
1位	天野 緑	22分47秒
2位	若菜幸江	34分04秒
3位	—	—

1月1日、毎年恒例の谷村地域協働のまちづくり推進会主催による「元旦マラソン大会」が行われました。今年も多くランナーが参加し、大変盛り上がった大会となりました。

新春を彩る、谷村地域協働のまちづくり推進会が主催する元旦マラソン大会が開催されました。大会は今回で34回目を数え、市内及び県内外から541名が参加しました。11時30分、堀内市長の号砲でスタートを切り、谷村地域を一周するコースを疾走しました。当日の部門ごとの入賞者は、次のとおりです。



Tsuru Topics

晴天に気持ちよく滑走!



■当日は晴天に恵まれ、多くの親子連れがスケートリンクでの滑りを楽しみました。

1月4日、第47回都留市民初心者子どもスケート教室を開催しました。子ども達は元気いっぱいスケートを楽しんでいました。

毎年恒例の、第47回都留市民初心者子どもスケート教室を開催しました。スケート初心者の子も達は、貸切の室内リンクにおいて、転んだ時の起き上がり方から始まり、氷の上の歩き方、簡単な滑り方を教わりました。最初は緊張していた子ども達でしたが、何回転んでもあきらめずに起き上がり、みるみる上達していきました。午後には屋外スケートリンクに飛び出して一般のお客さんと一緒に楽しそうに滑っていました! 皆さん、お疲れさまでした!



■初心者の子も達は、転んだ時の起き上がり方や氷の上での歩き方などをインストラクターの先生に教わりました。

公立大学法人都留文科大学 第2期中期目標を策定しました。



■平成26年12月定例会の議決後、市長から公立大学法人都留文科大学に対し、第2期中期目標を指示しました。

平成21年4月に公立大学法人としてスタートを切った都留文科大学は、市長が指示した、第1期中期目標を受け、順調に大学運営を進めてきました。この第1期中期目標が、平成27年3月31日をもって終了することから、新たに第2期中期目標を策定し、12月定例会の議決を経て、この度、市長が公立大学法人都留文科大学へ指示しました。今後とも都留文科大学が、大学淘汰の時代の中にあっても都留市のシンボルとしてあり続け、また、学生や社会から「魅力あふれる大学」として認識され続けるためにも、この中期目標とこれに基づき大学が策定する中期計画により、大学の持続的な発展を目指していきます。

～第2期中期目標の概要～ ※中期目標は市ホームページで公表しています。

■目標期間 平成27年4月1日～平成33年3月31日(6年間)

■基本目標

長い年月をかけて培ってきた「教員養成系大学」としてのブランド力を基盤として、時代に適合した教育・研究・地域貢献について一層の進展と個性化を図りつつ、従来の学科をリフレッシュして、現状及び将来により適応した学部、学科編成を考へることにより、理事長、学長の強いリーダーシップのもとで、魅力あふれる大学づくりに取り組むこととし、それを実現するために、次の基本目標を掲げる。

- 1 教員養成系大学としてのブランドの強化
- 2 地域を創りグローバル化を支える人材の育成
- 3 「教育首都つる」推進に向けた地域貢献
- 4 柔軟で機動力のある大学経営の推進

■中期目標達成に向けての取組

大学は中期目標の達成に向けた具体的な取り組みを示す中期計画・年度計画を自ら作成し、その実績を評価・検証し、不断の自己改善を行う。また、中期計画の策定にあたっては、大学淘汰の時代にあっても、今後も魅力あふれる大学として発展し続けるため、次の4つの視点に主眼を置き、数値目標や達成目標年度を定め、着実に実現しなければならない。

- 1 学生の「出口(就職)」を重視する。
- 2 学部、学科の再編及び拡大を視野に入れる。
- 3 「選ばれる大学づくり」に注力する。
- 4 自主自立的で効率的な経営体制を構築する。

■基本目標の推進

- 1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標
- 2 研究に関する目標
- 3 地域貢献及び国際化に関する目標
- 4 業務運営の改善及び効率化に関する目標
- 5 財務内容の改善に関する目標
- 6 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標
- 7 その他業務運営に関する重要目標

法人は、第2期中期目標を達成するための具体的な計画(中期計画)と各事業年度の業務運営に関する計画(年度計画)を作成し、「魅力あふれる大学」づくりに向け、着実に実施していくことが求められます。

また、各事業年度における事業の進捗などについて、公立大学法人評価委員会の評価を毎年、受けることとなります。

都留市消防出初式を開催しました！

1月4日、新春恒例の都留市消防出初式を谷村第一小学校で開催しました。地域のために活躍される皆さん、いつもありがとうございます！

- 1月4日、新春恒例の都留市消防出初式が、多くのご来賓出席のもと、消防関係者508名が出席し、谷村第一小学校校庭で挙行されました。火災早期発見・初期消火協力者および消防団協力事業所への感謝状の伝達や消防活動に功績のあった多くの消防団員が表彰され受章者を代表して、都留市消防団の平井政司副団長が謝辞を行いました。
- 山梨県消防協会会長感謝状 (火災早期発見及び初期消火協力者) 4名
中野 清 久島和貴 近藤 涼 天野祐希
- 山梨県消防協会会長表彰 (甲種功労章) 3名
堀内英雄 中島浩利 和光一則
- (乙種功労章) 22名
日向由光 曾根 功 渡邊 聡 辻本 修 佐藤秀喜 奥秋 健 兜森俊行 亀田宏幸 荻窪晴樹 板垣公広 天森政司 加藤 隆 米山宗徳 武井良貴 岡部大吾郎 中村大介 佐藤秀樹 大森岳人 渡邊健一 相田 周 朝田高広 原田進一
- 富士・東部地域県民センター所長表彰 7名
三枝康秀 太田修司 佐藤利雄 矢野 秀 白須浩文 日向由光 原田進一
- 大月警察署長・山梨県防犯協会大月支部長感謝状 (功労章) 7名
矢野 秀 太田修司 三枝康秀 佐藤利雄 白須浩文 日向由光 原田進一
- 山梨県消防協会東部支部長表彰 (団体) 禾生分団
- (個人) 23名
小池純一 酒井雅史 上野佑樹 小宮 圭 三森寛士 山本義昌 幡野桂二 宮澤博文 重森直樹 小林拓也 高山 清 渡邊正人 上杉敏信 杉本昌宏 中島 悠 渡邊誠一 石井正人 岡部大吾郎 佐藤秀樹 菅井大介 菅沼大介 日向由光 原田進一
- 都留市消防団協力事業所表彰 1事業所 株式会社 NBCメッシュテック
- 山梨都留工場 市長表彰 39名
石井正人 曾根 功 中村一路 菅沼広和 河口 誠 渡邊耕二 井上佳昭 滝澤昭二 片岡健児 藤井大輔 辻本 修 佐藤秀喜 奥秋 健 兜森俊行 亀田宏幸 幡野桂二 小池純一 小林拓也 板垣公広 天森政司 高山 清 加藤 隆 渡邊正人 上杉敏信 藤山宗徳 杉本昌宏 武井良貴 藤本 学 佐藤隆治 田代 崇 佐藤秀樹 大森岳人 渡邊健一 相田 周 菅沼大介 野武正和 小俣智昭 朝田高広 原田進一
- 團長表彰 32名
幡野桂二 坂本達也 鈴木隆仁 森嶋健太 井上貴仁 近藤 淳 小林大祐 佐藤圭一 髯柳翔平 新津一哉 小林亮太 鈴木剛一 重森 悟 西依重郎 鈴木英幸 羽田新吾 天野勝規 鈴木 聖 橋本裕光 高尾健太 鈴木宏昭 佐藤佑輔 梅澤恒二 伊藤友騎 日向雅哉 小林英樹 森嶋雅史 野武広貴 小俣英樹 安富順吾 日向達也 杉本哲司
- 十年勤続表彰 41名
渡邊耕二 堀内敏男 池内光男 近藤謙一 山本高也 井上貴文
- 二十一年勤続表彰 11名
中島浩利 藤本一貴 遠藤明彦 奥脇利行 渡邊正人 上杉国博 山下仁士 木下貴浩 天野徹也 谷内章夫 服部健一
- 二十五年勤続表彰 4名
平井政司 白井 久 遠藤一幸 岩澤清高
- 受章者代表謝辞
都留市消防団 副団長 平井政司 (以上、敬称略)



消防団員募集！
あなたも参加して自分のまちをみんなと一緒に守りませんか？
消防団は、消火活動や火災予防活動のみでなく、大規模災害発生時においては、地域住民の救助、救出や復旧活動に大きな役割を果たしており、各地域の安心・安全を確保するうえで、必要不可欠な存在です。
特に、山梨県では、東海地震がいつ発生してもおかしくないと言われています。大規模災害発生時には、消防署だけではなく、地域住民全体の安全確保は難しく、災害から住民を守るためには、地域に密着した消防団を中心とした、地域防災力の強化が必要です。自分たちのまちを愛する一人ひとりの力を合わせれば、被害も最小限に抑えることができます。自分たちの地域の安心・安全確保のため、積極的な加入をお願いします。
問合せ 消防防災課 消防団担当